

事務事業名		埋蔵文化財発掘調査事業		目標設定日	令和2年3月1日
				部・局	教育委員会事務局
総合計画体系	基本政策	4	ふるさとを学び育つ文化のまちづくり	課・室	生涯学習課
	政策	03	地域の歴史・文化の保存と活用	係	文化財係
	施策	01	文化財の保護・保存・活用	内線電話	424
予算体系	会計	一般会計		実施計画	
	款	10款	教育費	未計上	
	項	4項	社会教育費	実施期間	
	目	2目	文化財保護費	合併前	～

目指す姿	対象（誰のために）	市民	意図（どのような状態にしたいのか）	埋蔵文化財は、中野市域の人々の3万年を語る史料である。歴史を消滅させないため、破壊を最小限に抑え、後世に伝えていく。
	現状・課題	市内には256箇所の埋蔵文化財包蔵地があるが、地中に埋もれているため存在が意識されず、土木工事等による破壊の危機に晒されている。実態を把握し市民への周知に努めなければならない。		
市が行う理由及びその根拠	義務的自治事務	文化財保護法		
事務事業概要	埋蔵文化財の実態把握のために踏査・試掘調査等を実施する。現状保存を原則とするが、不可能な場合は、発掘調査によって記録（写真・図面）を作成する。報告書・発表会等で成果を公表する。			
令和2年度の活動指標アウトプット	活動内容		活動量	
	開発事業者との埋蔵文化財保護協議		随時	
	市内遺跡の現地踏査・試掘調査		6箇所	
	市内遺跡出土品保存処理		一式	
	埋蔵文化財に対する探求心や学習意欲などに応える活動（講座等）		随時	

事務インポート	項目		単位	平成30年度	令和元年度	令和2年度
	予算額	当初予算	円		11,074,000	5,860,000
補正・流用等		円		-1,379,000	0	—
合計		円		9,695,000	5,860,000	2,086,000
決算（見込）額 A			円	4,868,467	5,860,000	—
R2は予算額	財源内訳	国庫支出金	円	464,000	1,041,000	1,042,000
		県支出金	円	0	0	0
		市債	円	0	0	0
		その他特定財源	円	2,600,158	3,776,000	0
	一般財源	円	1,804,309	1,043,000	1,044,000	
正規職員数		人		0.79	0.77	0.77
人件費 B		円		5,082,860	4,960,340	4,960,340
総事業費 A+B		円		9,951,327	10,820,340	7,046,340
市民1人当たりコスト		円		233	254	166

成果指標	アウトカム	方向	平成30年度		令和元年度		令和2年度	
現地踏査・確認調査回数		増加	目標	6箇所	6箇所	6箇所		
			成果	6箇所	2箇所	—		
講座等を利用した普及啓発活動の参加者数		維持	目標	—人	—人	140人		
			成果	92人	140人	—		
成果指標と目標値を設定した理由	周知の埋蔵文化財包蔵地（遺跡）の実態を把握することは、開発行為と文化財の保存との円滑な調整に資するため。また、埋蔵文化財に関する普及啓発活動により周知を図るため。							

令和2年度の実施方針	重点的に実施	活動量	増やす	コスト	維持する	成果	上げる
	国庫補助金を活用し、試掘調査及び出土品保存処理を実施する。						

